

[SPECIAL FEATURE]

TOKYO AUTO SALON 2016

最新トレンド&最新プロダクトをフルにつかみ取る!

AUDI EXCLUSIVE

尽きることのないアウディモディファイド

アウディA6 GT/TTクーペ&J/TT5クーペBS
A5 RS5/アウディQ7 4L

Life Style MERCEDES-BENZ

メルセデスベンツGLS63AMG
カーボンX1173.5スタイルング based on
メルセデスベンツGLSシュートイングブレーク

JPN WHEEL 2016

メイドインジャパンという新トレンド

US & TUNER BRAND WHEELS

種がせだくなる最高級ブランド

ES

エスフォー
EUROMOTIVE MAGAZINE

61

2016 MARCH

刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

Style Powered Super Car

BMW i8

VOLKS PASSAT FOLKS

フォルクスワーゲン・パサートヴァリアント
パサート2.5SE, US Spec.

MERCEDES-AMG GT S

[TOP ISSUE]

SUPER SPORT & EXOTICS

頂点モディファイド

メルセデスAMG GT S / ランボルギーニ・ウラカン
ランボルギーニ・アヴェンタドール
フェラーリ458イタリア / ボルシェ911カレラS

GEIBUN MOOK

ISSN 1345-3276



Top Modified
SUPER SPORT & EXOTICS 頂点モディファイド

V12_MID SHIP LAYOUT_4WD_LIMITED EDITION_SUPER CAR
**LAMBORGHINI AVENTADOR
LP700-4 PIRELLI EDITION**

CALL>>EC.SPEC(イーンズスペック) [092]406-1414 www.ec-spec.jp
HYPER FORGED WHEELS(ハイパーフォージドホイールズ)
[072]256-6664 www.hyperforgedwheels.com
PHOTO>>NOBUTAKA KOREMOTO(是本信高)

SPECIFICATIONS
LAMBORGHINI AVENTADOR LP700-4 PIRELLI EDITION
WHEEL HYPER FORGED>>HF-LC5 F:20×9.5 R:21×13.5
Finish:Brushed Anodized Gold Disk + Brushed Anodized Gold Rim
TIRE PIRELLI>>P ZERO-L F:255/30R20 R:355/25R21
SUSPENSION S&COMPANY>>HNS Lowing Kit
EXHAUST FI EXHAUST>>Full Exhaust System



V12_MID SHIP LAYOUT_4WD_LIMITED EDITION_SUPER CAR
**LAMBORGHINI AVENTADOR
LP700-4 PIRELLI EDITION**

ランボにはハイパー

限定車ピレリエディションのイエローと合わせるために、マットゴールドのハイパーフォージド HF-LC5 を選択。車高はエスカンの HNS ローリングキットで落としている。

サイズを太くするとこで車高を低めるという発想

“ランボルギーニにハイパーフォージド”、“純正サイズのタイヤが履けて極限までシャコタンに”という2つのテーマで製作された、このランボルギーニ・アヴェンタドール LP700-4。しかもベースは限定のピレリエディションという、なにげに難しいこのテーマにチャレンジしたのは福岡・EC スペック。

ハイパーフォージドをランボルギーニに履かせるって王道なホイール選びなんだけれど、サイズを含めてほかのハイパー履きのランボとどう差別化するのか？ そこがキモ。ECスペックではHF-LC5のフィニッシュにピレリエディションのイエローとマッチするマットゴールドをオーダー。アナダイズゴールドでブラッシュドというフィニッシュ。これ、ゴールドの色のクオリティコントロールが難しいため、ふだんは注文を受け付けてもらえないのだが、いろいろな条件をクリアして発注&完成。これがほかにはない LC5 になった。

さらにサイズでも EC スペックはチャレンジ。ハイパーフォージドでは、これまで多数のアヴェンタドールへの装着例があるから、サイズは決まっている。20×9.0 / 21×13.0あるいは21×9.0 / 22×13.0だ。ところがECスペック、極限まで車高を落としてアヴェンタドールをカッコよく見

せたいため、20×9.5と21×13.5をオーダー。タイヤは純正と同じ255/30R20と355/25R21サイズのランボルギーニ認証ピレリ・Pゼロ-Lを履かせて、車高はエス&カンパニーのHNSローリングキットでガバッと落とす。

と、どうなるか？
リア側で355なんて幅のワイドタイヤでも、通常よりハーフインチ上げたリム幅13.5ではちょっとだけ引っ張り気味になって、わずかだけドフェンダーとのクリアランスが増える。これが、355とリム幅13.0の組み合わせではショルターが立ってしまうから、この車高にはできないというのだ。

なるほど、シャコタンベシャリストのECスペックでは、こんな逆転の発想的サイズ設定で、このイエローのアヴェンタドールの車高をここまで低めていたのだ。地面のクリアランスはまさに極限まで低くて、道路以外どこにも行けなそうに見えるが、それは心配ない。フロントには純正のリフターシステムが搭載されているから、段差のある駐車場への進入もしやすくなっているのだ。

車高はサスだけで落すものではない。ECスペックの手法のように、ホイールとタイヤのサイズでも落とせるというのが、前述の2つの命題の解答なのだ。



カラーが安定しづらいため、ハイパーフォージドでもあまりオーダーを受け付けないというゴールドアナダイズブラッシュド。リムも同じフィニッシュ。



1 エンジンのルーバー部分が透明になっているのも、ピレリエディションらしさのひとつ。2 シートが赤いストライプやレッドステッチで仕上げられるのが、ピレリエディションの特徴だ。